39 01 04 02 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月24日（月）

事務事業	一般廃棄物関係事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3912
第2次総合計画 行政分野別		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
計画施策 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 深谷市ごみ処理基本計画 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令				
中項目	200003 人と自然にやさしいまちづくり						
小項目	200002 環境衛生の推進						

事業概要	・廃乾電池・蛍光管等の有害ごみの処分を行う。・市民から直接搬入（不燃ごみ・資源物）される旧施設の受付業務及び深谷清掃センター等で使用する水源施設（櫛引水源）の維持管理を行う。・不法投棄物の回収、直接搬入されたごみを大里広域の処理施設等へ搬入するために使用する塵芥車両の管理を行う。・最終処分場の適正な維持管理及び地下水汚染の防止を図る。
目的 ※何のために	ごみを適正に処理し環境保全を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	市民が排出する廃乾電池・蛍光管等の有害ごみや市民が資源置場に直接搬入した燃やせないごみや資源物。 最終処分場７か所。
手段 ※どのように	有害ごみについては、業者に委託し処理する。燃やせないごみ等は、大里広域市町村圏組合クリーンセンターに搬入する。関係法令に基づく浸出水・発生ガス・周辺地下水の環境分析を実施する。
成果 ※何を求めるか	ごみ処分の円滑化を図る。 定期的な環境分析を実施することにより、水質・大気等の影響を把握する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	02	清掃費	02	塵芥処理費	ごみ処分関係事業	17,828,790
一般会計	04	衛生費	02	清掃費	02	塵芥処理費	埋立施設維持管理事業	7,171,450
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 櫛引水源水質分析業務委託	・ 清掃車両の維持管理
・ 車両の管理（燃料費・修繕）	・ 埼玉県清掃行政研究協議会負担金の支出
・ 一般廃棄物（ごみ）の処理	・ 清掃業務の統計報告
・ 清掃センター旧施設・最終処分場・櫛引水源管理業務委託	・ 許可業者（ごみ）の指導監督
・ 一般廃棄物（ごみ）の収集運搬及び処分業許可	・ 環境分析業務委託
・ 犬、猫等の死がい処理	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		資源物置場新設工事設計業務委託	資源物置場新設工事業務委託				
事業費	予算（現額）	39,267,000	191,570,000	23,736,000	28,907,000	40,850,000	34,674,000
	決算額	22,825,755	187,729,579	21,943,397	25,000,240	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	146,500,000	0	0	0	0
	他特定財源	3,214,000	3,464,000	2,883,749	2,428,690	3,270,000	3,100,000
	一般財源	19,611,755	37,765,579	19,059,648	22,571,550	37,580,000	31,574,000
人件費	従事職員数（人）	3.75	2.85	2.85	3.75	3.75	3.75
	人件費相当試算 ※1	29,171,250	22,178,700	22,403,850	30,510,000	30,510,000	30,510,000
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		51,997,005	209,908,279	44,347,247	55,510,240	71,360,000	65,184,000

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	市民等からの直接搬入受付台数	目標値	台							■
			実績値		33,981.00	37,797.00	42,101.00	48,193.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		直接搬入台数は予測できないため、目標値設定できない。							
		清掃センターからの報告									
□	成果指標１	有害ごみの処分量	目標値	ｋｇ							■
			実績値		44,560.00	41,760.00	41,860.00	42,020.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		県内統一の契約であるため、目標値設定できない。							
		処理状況実績により									
□	成果指標２	有害ごみの処理費用	目標値	千円							■
			実績値		4,263.25	3,939.29	3,994.00	4,103.72	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		ごみの発生量は予測できないため、目標値設定できない。							
		埼玉県清掃行政研究協議会により									
■	成果指標３	市民等からの直接搬入量	目標値	t							■
			実績値		4,927.59	5,197.06	5,538.77	5,207.66	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		経済状況等により搬入量は変わるので、目標値設定できない。							
		清掃センターからの報告									
□	成果指標４	塵芥車両等の受付台数	目標値	台							■
			実績値		34,280.00	34,825.00	35,129.00	35,033.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		ごみの発生量により搬入台数は変わるので、目標値設定できない。							
		清掃センターからの報告									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 市民等からの直接搬入台数は昨年度より増加している。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 市民等からの直接搬入量は昨年度より減少している。また、有害ごみの処分は適正に行われている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	係長　石川　秀敏

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	資源物置場は、搬入量の増加、搬入物の多様化により、有害ごみの受け入れ、搬入ごみの解体作業などの危険業務もあるため専門業者への委託を検討する。 夜間、休日などの施設の管理を一体的に専門業者へ委託を検討する。
達成状況 及び その効果	資源物等置場における複数の業務の中で、委託可能な業務を精査し予算化に向けての検討を行った。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	一般廃棄物関係事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3912

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

■ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

市の管理施設である資源物等置場は、市民が不燃ごみ・資源物を直接搬入できる施設であり、受付業務については、シルバー人材センターへ委託している。その他の業務についても、有害ごみの分別や粗大ごみの解体など、多岐に渡り危険を伴う作業であるため、専門業者への委託化が必要とされる。

評価者	課長　富田　勝

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

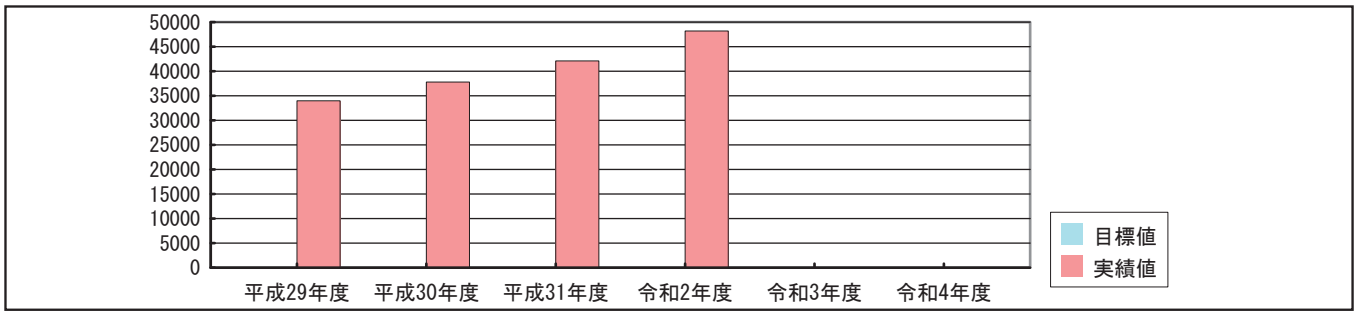
改善・改革案	資源物等置場における各業務について、業務内容や予算等を踏まえた委託化への検討を実施していく必要がある。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

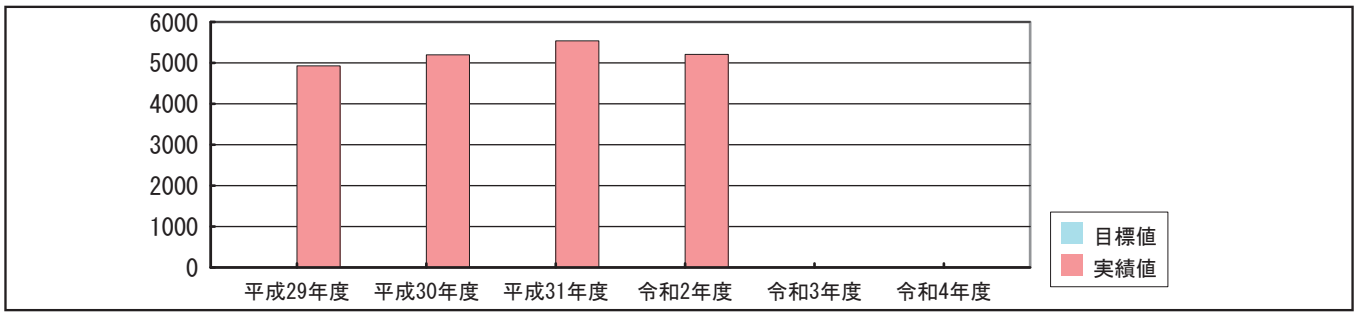
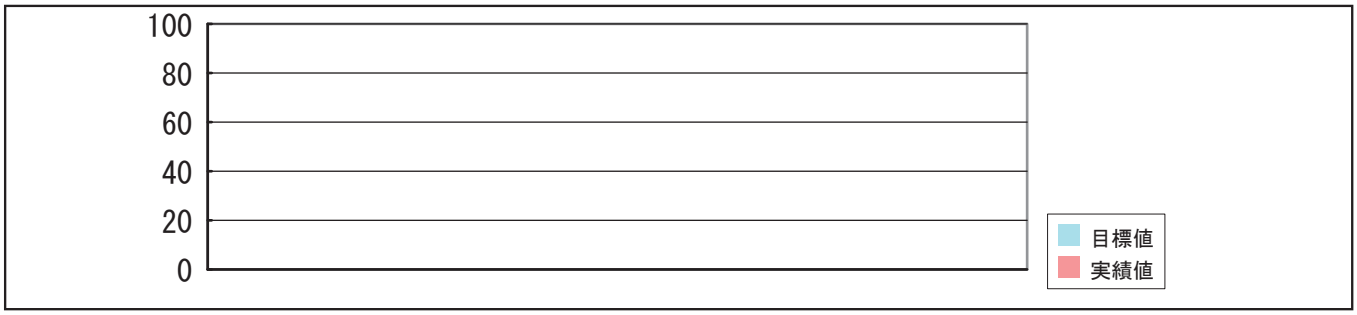
今後の課題	資源物等置場における各業務の委託化については、コストを抑え、且つ、市民の家庭ごみ搬入への影響が出ないよう、慎重に進めていく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	市民等からの直接搬入受付台数



区分	成果指標３	指標名	市民等からの直接搬入量



区分		指標名